



平成27年10月号 (第233号)

特集1

「平成26年地盤沈下調査結果」
についてお知らせしますP2

特集2

「平成26年度交通騒音・振動調査結果」
についてお知らせしますP3



その他 環境情報が満載 P3~12



あいちサステイナ研究所の開所式を開催しました



「アクション油ヶ淵2015」を開催しました



あいち生物多様性フォーラムを開催しました



エコアクションを
はじめよう！つづけよう！つなげよう！

<http://aichi-eco.com>



愛知県では、昭和36年から継続的に地盤沈下の状況を観測・調査しています。この度、平成26年の調査結果の概要がまとまりましたのでお知らせします。

1 平成26年の地盤沈下の状況

地盤の高さを計測し地盤沈下の状況を調査する水準測量は、県内を尾張・名古屋市、知多、西三河、東三河の4つの地域に分けて行っており、平成26年は尾張・名古屋市地域と東三河地域において実施しました。尾張・名古屋市地域で1年当たり1cm以上沈下した水準点は1点ありましたが、沈下域（隣接する3点以上で1cm/年以上の沈下が見られた地域）はありませんでした（表）。

昭和40年代に地盤沈下の激しかった尾張・名古屋市地域では、昭和50年代に沈下速度は鈍化し、昭和60年以降は概ね沈静化の傾向を示しています（図1）。

なお、東三河地域では1年当たり1cm以上沈下した水準点はなく、経年的な地盤沈下の傾向は見られませんでした。

表 沈下を示した水準点数（尾張・名古屋市地域）

水準点		観測年										
		平成17年	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	
有効水準点		681	672	681	682	644	555	556	563	556	556	
沈下点数	0.5cm未満	248	349	204	402	484	18	352	173	376	120	
	0.5cm以上1cm未満	28	59	9	12	77	1	25	20	40	10	
	1cm以上2cm未満	14	3	0	0	0	0	0	0	0	1	
	2cm以上	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	合計	291	411	213	414	561	19	377	193	416	131	

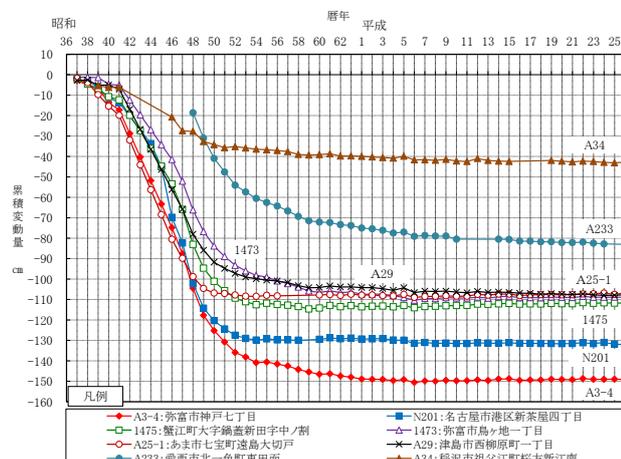


図1 主要な水準点の調査開始からの累積変動状況（尾張・名古屋市地域）

2 地下水揚水量の状況

地盤沈下の進行と密接な関係がある地下水揚水量については、昭和50年には県内で約2,500千 m^3 /日ありましたが、尾張地域の揚水規制の効果などにより年々減少し、平成16年度以降は1,000千 m^3 /日を下回っています（図2）。

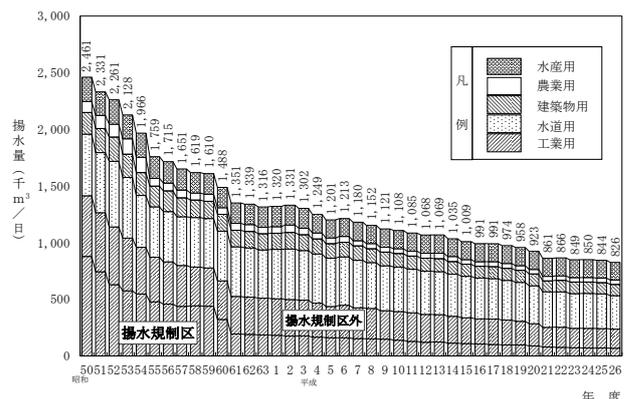


図2 愛知県の地下水揚水量

3 まとめ

平成26年及び過去の調査結果から、県内の地盤沈下は概ね沈静化の傾向にあります。しかし渇水時には、雨水など地下に浸透する水量の減少や揚水量の増加により、地下水位が急激に低下し、広範囲な地盤沈下の発生する可能性が依然としてあります。

一旦沈下した地盤は元には戻りません。地盤沈下が発生すると、浸水被害等の危険度が高まることから、引き続き地盤沈下調査や地下水位の監視を行うとともに、地下水の揚水規制等を実施し、地盤沈下の防止に努めていきます。

詳細はWebページをご覧ください。

(<http://www.pref.aichi.jp/0000085517.html>)

〔 水地盤環境課 地盤沈下対策グループ
電話 052-954-6223/6224 (ダイヤルイン) 〕

平成26年度に愛知県及び関係市町村が実施した交通騒音・振動の調査結果の概要は次のとおりです。

1 自動車騒音・道路交通振動調査

(1) 自動車騒音の環境基準達成状況 (カッコ内は25年度)

評価区間数	全評価戸数	環境基準達成戸数[達成率]
996 区間	487,327 戸	466,535 戸[95.7%]
(964 区間)	(476,008 戸)	(455,052 戸[95.6%])

(2) 自動車騒音の要請限度超過状況 (同上)

調査地点数	要請限度超過地点数[超過割合]
137 地点	8 地点[5.8%]
(128 地点)	(7 地点[5.5%])

(3) 道路交通振動の要請限度超過状況

調査地点 65 地点全てで下回りました。

(平成25年度は 61 地点全てで下回りました。)

(4) 今後の対応

国、県等の機関がそれぞれの役割のもとに、低騒音舗装や環境施設帯の整備など道路管理者による道路構造対策、走行時の騒音の少ないエコカーの導入促進など、総合的な自動車対策を進めていきます。

2 新幹線鉄道騒音・振動調査

(1) 新幹線鉄道騒音の環境基準達成状況 (同上)

調査地点数	環境基準達成地点数[達成率]
76 地点	49 地点[64.5%]
(78 地点)	(47 地点[60.3%])

(2) 新幹線鉄道振動の指針値達成状況

調査地点 30 地点全てで達成しました。

(平成25年度は 30 地点のうち 29 地点で達成)

(3) 今後の対応

県は毎年度新幹線鉄道事業者に騒音対策の実施を要望しており、事業者は引き続き、車両対策や防音壁設置、レール削正等の地上対策を進めていきます。

3 航空機騒音調査

(1) 航空機騒音の環境基準達成状況

【県営名古屋空港】

調査地点 15 地点のうち 7 地点で達成しました。

(平成25年度は 15 地点のうち 8 地点で達成)

【中部国際空港】

調査地点 5 地点全てで達成しました。(25年度と同じ)

(2) 今後の対応

県営名古屋空港では引き続き運用時間(7:00～22:00)外の利用禁止、騒音に配慮した運航方式の徹底、住宅防音工事等を実施していきます。

詳細は Web ページをご覧ください。

(<http://www.pref.aichi.jp/0000085931.html>)

地球温暖化対策室 自動車環境グループ
電話 052-954-6217 (ダイヤルイン)
大気環境課 調整・生活環境グループ
電話 052-954-6214 (ダイヤルイン)

連載⑥ エコリンクあいちだより

<http://aichi-eco.com/>

「エコリンクあいち」は、皆さんが地球にやさしい身近な環境配慮行動「エコアクション」に楽しく取り組み、その活動を広げるためのサイトで、エコアクションに関する日記等を投稿いただいています。ここではその一部を紹介します。

○ 東海市立船島ふなじま小学校の取組

船島小学校は、地域の方と連携してフナビオ会を組織し、平成18年5月、運動場にビオトープを造成しました。児童達は、ビオトープ活動を通して、自

然に親しむとともに、命の尊さを学んでいます。詳細は以下のHPをご覧ください。HP:
<http://www.funajima-e.aichi-c.ed.jp/>



ビオトープで自然体験



みんなで Let's エコアクション!

あいちエコアクション広報部



ほしのまりあ
星野麻里愛

環境政策課 企画・広報グループ
電話 052-954-6210 (ダイヤルイン)

事業者向け「化学物質適正管理セミナー」を開催します

化学物質による環境や健康への影響を減らすため、愛知県は、名古屋市との共催で、化学物質を取り扱っている事業者の皆さんを対象としたセミナーを開催します。今年度は大規模災害時の対策や化学物質を取り扱う事業所での事故の傾向や対策などを説明しますので、是非ご参加ください。

- 1 日時：10月19日(月) 13:30～16:00
- 2 場所：伏見ライフプラザ5階 鯉城ホール
(名古屋市中区栄一丁目23-13)
- 3 定員：600名(申込み先着順)
- 4 参加費：無料
- 5 講演内容

- (1) 愛知県における化学物質の現状と取組について
愛知県環境部環境活動推進課

- (2) 化学物質取扱事業者のための震災対策について
みずほ情報総研株式会社
環境エネルギー第1部 貴志 孝洋 さん
- (3) 近年の化学物質に係る事故の傾向及びそれらの事故対策などについて
独立行政法人労働安全衛生総合研究所
化学安全研究グループ部長 藤本 康弘 さん

6 申込方法

9月18日(金)より受付を開始しています。
次のWebページからお申し込みください。

(http://www.pref.aichi.jp/kankyo/cgi-script/prtr/event/event_view.cgi)

〔 環境活動推進課 環境リスク対策グループ 〕
電話 052-954-6212 (ダイヤルイン)

県民向け「化学物質セミナー」を開催します

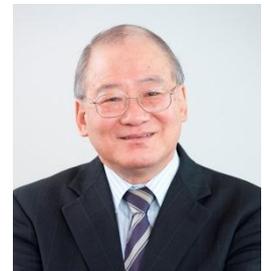
化学物質は、私たちの快適な暮らしに欠かせないものですが、使い方を誤ると人や動植物に悪影響を与えてしまうおそれがあります。このため、私たち一人ひとりが身の回りの化学物質の性質を理解し、正しく使用することが大切です。愛知県は、名古屋市との共催で、県民の皆さんを対象としたセミナーを開催しますので、是非ご参加ください。

- 1 日時：10月29日(木) 14:00～16:00
- 2 場所：愛知芸術文化センター12階 アートスペースA(名古屋市東区東桜一丁目13-2)
- 3 定員：250名(申込み先着順)
- 4 参加費：無料
- 5 講演内容

- (1) 化学物質とわたしたちの暮らし
名古屋市環境局地域環境対策課
- (2) 化学物質との正しい付き合い方—農薬、食品添加物などの必要性、安全性を考える

淑徳大学教授

北野 大 さん



北野 大 さん

6 申込方法

10月13日(火)10:00から名古屋市環境局地域環境対策課有害化学物質対策係にて申込受付を開始しますので、

- ① 電話 052-972-2677
- ② FAX 052-972-4155
- ③ Eメール

(a2677@kankyokyoku.city.nagoya.lg.jp)

のいずれかの方法により、氏名、電話番号、お住まいの市町村名をお知らせください。

〔 環境活動推進課 環境リスク対策グループ 〕
電話 052-954-6212 (ダイヤルイン)

「東海三県一市グリーン購入キャンペーン」を実施しています

環境ラベル商品や詰め替え商品、地元・旬のものを選んで買う、本当に必要なものを購入するなど、普段から“エコなお買い物”をしていますか。

このように、必要性を十分に考えた上で環境負荷ができるだけ少ない商品を購入することを「グリーン購入」といいます。

愛知県では、グリーン購入の普及と定着を図るため、岐阜県、三重県、名古屋市及び団体・事業者と連携し、現在「東海三県一市グリーン購入キャンペーン」を実施しています。キャンペーン期間中、右図のような環境ラベルが付いた商品や地元・旬のもの等地球に優しい商品を購入し、アンケートに答えてご応募いただくと、抽選で251名様にエコ商品の詰め合わせ等が当たります。



グリーン購入キャラクター
ぱっくん がまこ

この機会にグリーン購入をしてみませんか。

【キャンペーン期間】

10月1日(木)～10月31日(土)

【応募方法】

「ネット応募フォーム」または「懸賞応募はがき」からアンケートに答えてご応募ください。



ネット応募フォームは
こちらから

【環境ラベルの一例】



▽詳細は Web ページをご覧ください。

<http://www.pref.aichi.jp/0000085981.html>

環境活動推進課 調整・環境配慮行動グループ
電話 052-954-6241 (ダイヤルイン)

「エコ モビリティ ライフ 県民の集い2015」参加者募集

愛知県では、クルマ（自家用車）と公共交通、自転車、徒歩などをかしこく使い分ける「エコ モビリティ ライフ」（エコモビ）を推進しています。

このたび、「エコモビ」の意義や取組などを広く県民の皆さんに知っていただくとともに、実践を呼びかける「エコ モビリティ ライフ 県民の集い2015」を開催します。皆さんの参加をお待ちしております。

- 日時：11月6日(金) 13:30～15:30
- 場所：愛知芸術文化センター12階アートスペースA(名古屋市東区東桜一丁目13-2)
- 内容：①平成27年度「エコモビ推進表彰」表彰式、表彰団体による取組発表
②講演「からだ若返る7つの習慣～エコウォーキングと7つの秘訣でぽっこりお腹を解消～」
だてきみこ
クム伊達公子選手の現役復帰に貢献した
なかの
フィジカルトレーナー中野ジェームズ修一さん

4 申込方法

次の①～⑥を明記し、10月30日(金)(必着)までに、はがき、FAXにて交通対策課(〒460-8501(住所記載不要)、FAX:052(961)3248)へお申し込みください。



中野ジェームズ修一さん

- 「県民の集い 参加希望」
 - 代表者氏名
 - 住所
 - 連絡先(電話・FAX番号・メールアドレス等)
 - 参加人数
 - このイベントを知ったきっかけ
- ※定員：250名(申込先着順・超過時のみご連絡)

※パソコン、スマホからも

お申込みいただけます。

知って得するエコモビ実践ガイド

エコモビ 実践

検索



QRコード

振興部 交通対策課 エコモビリティライフ推進グループ
電話 052-954-6125 (ダイヤルイン)

「全国・自然歩道を歩こう大会 愛知県大会」を開催します

10月には、環境省が主唱する「全国・自然歩道を歩こう月間」です。愛知県ではこの月間に合わせて、愛知県ウオーキング協会と共催で「第34回全国・自然歩道を歩こう大会 愛知県大会」を開催します。今回のコースは、瀬戸市内の万徳寺、雲興寺、岩屋堂を巡りながら東海自然歩道の緑豊かな自然を歩く全長約13kmのコースです。是非ご参加ください。

1 日時：10月18日(日)

9:00 集合、9:20 出発、14:40 解散予定

2 集合場所：瀬戸蔵（瀬戸市蔵所町1-1、名鉄瀬戸線「尾張瀬戸」より徒歩5分）

3 コース：東海自然歩道ほか瀬戸市内約13km
（瀬戸蔵～万徳寺～雲興寺～岩屋堂～品野バスセンター）

4 参加費：無料（申込み不要）

5 参加資格：制限なし（小学生以下の参加については、保護者の方の付き添いをお願いします。）

6 その他

・昼食・飲み物・雨具・健康保険証をご持参ください。

・駐車場はありませんので、必ず公共交通機関でお越しください。

・小雨決行。雨天中止は当日6:30頃に決定。

・開催要領及びコースマップは次の自然環境課Webページをご覧ください。

(<http://www.pref.aichi.jp/0000085453.html>)



昨年度の様子

（自然環境課 調整・施設・自然公園グループ
電話 052-954-6227（ダイヤルイン））



「2016 愛知環境賞」へのエントリーを募集しています

愛知県では、平成17年3月から、資源循環や環境負荷低減に関する優れた取組を「愛知環境賞」として表彰しています。

今年度も、表彰の対象となる取組を募集していますので、是非ご応募ください。

1 募集対象者

企業、団体又はグループ（個人の方の応募はできません。）

2 募集対象事例

省資源、省エネルギー、新エネルギー及び3R（リデュース：発生抑制、リユース：再使用、リサイクル：再生利用）など、資源循環や環境負荷低減に関する先駆的で効果的な＜技術・事業＞、＜活動・教育＞

3 募集期間

9月1日(火)～10月30日(金)

4 応募方法

応募用紙に内容を記載の上、13部（正本1部、副本12部）を持参又は郵送で提出してください。

また、全てのデータを格納したCD-R等の電子媒体も併せて1部提出してください（電子メール不可）。

応募用紙のダウンロードや詳細は、次のWebページをご覧ください。

(<http://www.pref.aichi.jp/0000083877.html>)

5 提出先

愛知県環境部資源循環推進課循環グループ

〒460-8501 名古屋市中区三の丸三丁目1番2号

6 選考結果の公表

平成28年1月下旬予定

（資源循環推進課 循環グループ
電話 052-954-6233（ダイヤルイン））

海岸漂着物学習セミナーを開催します

愛知県では、海岸漂着物を課題とする環境学習を実施するため、平成25年度に「知る・考える・行動する」をコンセプトとした環境学習プログラムを作成し、平成26年度から県内3箇所の海岸などで県民の皆さんに楽しみながら海岸漂着物の現状や影響、対策について学んでいただく海岸漂着物学習セミナーを実施しています。

平成26年度には270名の参加をいただき、アンケートを実施したところ、参加者の83%から「面白かった」との回答を得ました。



昨年の白浜海岸（西尾市佐久島）ビンゴゲームの様子

今年度も県内3箇所で実施することとし、そのひとつとして蒲郡市形原町にある春日浦海岸で「東三河海岸漂着物学習セミナー」を開催します。

海岸に落ちている漂着物を使ってビンゴゲームを楽しむ講座と、漂着物を材料にモビールづくりを楽しむ講座の計2講座を開催します。

参加費は無料ですが、事前の申込が必要です。

1 日程

A ビンゴゲームを楽しむ講座

（小学校中・高学年向け）

11月8日（日）9：15～12：00

B モビールづくりを楽しむ講座

（中学生以上向け）

11月8日（日）13：00～16：00

2 集合場所

蒲郡市形原公民館（蒲郡市形原町春日浦27-1）

3 開催場所

蒲郡市形原公民館及び春日浦海岸

4 定員

各講座50名

5 申込方法

以下の内容を記載して、はがきかFAXでお申し込みください。

<記載内容>

① 参加したい講座名（A又はB）

② 代表者の住所、氏名、年齢、性別、連絡先（電話番号）

③ 参加者全員の氏名（ふりがな）、年齢、性別（傷害保険加入のため、開催日当日の年齢を御記入ください。）

6 申込期間

10月1日（木）～10月23日（金）<必着>

7 申込先

名鉄観光サービス(株)岡崎支店

海岸漂着物学習セミナー係

〒444-0860 岡崎市明大寺本町3-17 角金ビル

FAX：0564-21-8448

8 問合せ先

愛知県東三河総局 県民環境部環境保全課

廃棄物対策グループ

〒440-8515 豊橋市八町通5-4（東三河県庁）

電話：0532-35-6114, 6115

9 その他

このセミナーは参加者の中から抽選で記念品がもらえるAELネット環境学習スタンプラリーの対象講座です。

スタンプラリーの詳細はWebページをご覧ください。
(http://aichi-eco.com/ael_stamprally)

〔 資源循環推進課 一般廃棄物グループ
電話 052-954-6234（ダイヤルイン） 〕



愛知県では、昨年11月に開催された「持続可能な開発のための教育（ESD）ユネスコ世界会議」の成果である「あいち・なごや宣言」を踏まえ、「環境首都あいち」の実現に向けて、持続可能なあいちの担い手を育成する「人づくり」を推進しています。

【かがやけ☆あいちサステイナ研究所の設立】

「あいち・なごや宣言」では「ユース世代の能力育成の強化」が重要とされたため、本県は、県内の学生を対象に、近い将来、地域の担い手となる学生が、グローバルな視点を持って、継続的に環境配慮行動を実施していくプログラムとして「かがやけ☆あいちサステイナ研究所」を立ち上げました。

本研究所は、大村知事を所長とし、学生が研究員として活動します。協力の得られた企業にクライアントとなっただき、研究員に対し環境面での取組に関する課題を提示し、研究員4名が1グループとなって、企業の現場での調査や企業の担当者の方との検討を経て、解決策を研究します。

【開所式】

本研究所の研究員活動は、8月21日に開催した開所式からスタートしました。

開所式には、すべての研究員20名が出席し、クライアントとなった協力企業5社から研究課題についての説明を受けました。

＜協力企業からの研究課題＞ (五十音順、敬称略)

企業	学生に与えられる検討課題
アイシン精機(株)	「アイシン環境学習プログラム」をさらに効果的にする方策の検討。
ソニーイーエムシーエス(株)	環境配慮企業としてのイメージアップ戦略についての検討。
東邦ガス(株)	エネルギー事業者として、最適な環境活動についての検討。
(株)三井住友銀行	環境配慮企業を後押しする新たな金融サービスについての検討。
ユニグループ・ホールディングス(株)	自社ブランドの環境配慮商品の開発及びPR方法についての検討。

このほか、本研究所の顧問に就任していただいた(株)中日新聞社の飯尾歩いいおあゆみさんによる基調講演や環境

省中部環境パートナーシップオフィスの新海洋子しんかいようこさんによるセミナーが行われた後、研究員たちは、各グループに分かれ、研究員をサポートするファシリテーターや協力企業と熱心にディスカッションを行いました。



開所式の様子

【知事表敬】

開所式にあわせて、研究員は研究所の所長である大村知事を表敬訪問しました。

知事からは、「日本一の産業県である愛知だからこそ環境面でもトップランナーでありたい。若者のアイデアでぜひ良い提案をしてほしい。」と激励を受けました。

また、研究員たちの各グループのリーダーは研究所での活動に対する抱負や意気込みを話しました。



大村知事からの激励

研究員は8月から9月にかけて、グループ毎に各企業に派遣され、個別の課題について検討し、11月に成果発表を行います。

研究活動の様子は、以下のURLを参照ください。
(facebook) <https://www.facebook.com/kagayaken>

〔 環境政策課 企画・広報グループ
電話 052-954-6210 (ダイヤルイン) 〕

公害対策の融資をお得に受けてみませんか！

～ 金利の一部を利子補給します～

公害対策に使える融資がお得に受けられます！

愛知県では、公害を防除するために必要な施設の整備・設置や、公害を防ぐために工場移転を行う中小企業の皆様に、**愛知県経済環境適応資金**（パワーアップ資金）の融資を行っています。

この融資は固定金利ですが、更に環境部では、支払う金利の一部を**利子補給**して、返済に係るご負担を軽減しています。

公害防除に関心をお持ちの方、少しでも興味が湧いた方、これからますます重要になる環境対策への設備投資の検討に、是非お問い合わせください。

Web ページでも詳細をご紹介します。

(<http://www.pref.aichi.jp/0000069974.html>)

「愛知県 利子補給」で検索！



○融資の対象

公害防除施設	公害防除に必要な施設の設置や改善等を講ずるための経費 例:集じん施設、汚水処理施設、防音施設
工場移転	現在地での公害防止が困難なため移転し、移転先で必要な措置を講ずるための経費 例:移転費、用地取得費、公害防除設備費

○融資の条件

融資限度額	1 億 5,000 万円
融資期間/利率 【実質年利】	5 年/年 1.6% 【年 0.64%】 7 年/年 1.7% 【年 0.68%】 10 年/年 1.8% 【年 0.72%】
利子補給率	支払利子額の 60% (公害防除施設 5,000 万円、工場移転 7,000 万円の上限額有り)
返済方法	据置 1 年以内 原則元金均等分割返済

〔 環境政策課 法規・融資・補償グループ
電話 052-954-6209 (ダイヤルイン) 〕

「アクション油ヶ淵 2015」を開催しました

県と碧南・安城・西尾・高浜の油ヶ淵周辺 4 市は、県唯一の天然湖沼である「油ヶ淵」の水質浄化を図るため、平成 5 年 4 月に「油ヶ淵水質浄化促進協議会」を設立しました。以来、湖内の覆砂や浚渫、ヨシなどによる植生浄化、生活排水処理施設の整備等の水質改善対策や、流域住民に向けた生活排水対策の普及・啓発事業などを継続的に推進しています。

この啓発事業の一環として、油ヶ淵への関心を深め、水質浄化に向けた気運を盛り上げることを目的としたイベント「アクション油ヶ淵 2015」を 9 月 8 日(火)に開催しました。西尾市立米津^{よねづ}小学校 4 年生の児童や一般市民など約 130 名の方々が参加し、湖上から油ヶ淵を観察する乗船体験、油ヶ淵や流入河川に生息する生きものとふれあう体験講座などの体験型のプログラムを通して、油ヶ淵の環境や水質汚濁の状況について理解を深めました。



ウナギの放流体験

手から滑る大きなウナギをやっとの思いで放流しました。

体験講座「生きものとふれあおう！」

20 種類以上の生きものと触れあいながら油ヶ淵の環境について学びました。



水質調査体験教室

初めて触る COD パックテストに皆さん興味津々でした。



〔 水地盤環境課 調整・生活排水グループ
電話 052-954-6219 (ダイヤルイン) 〕

10月はクリーン排水推進月間及び浄化槽強調月間です

愛知県では、生活排水対策に関する基本方針により、10月を「クリーン排水推進月間」及び「浄化槽強調月間」と定め、川や海などの汚れの主要な原因である生活排水への関心を高めるとともに、浄化槽の適正な維持管理の重要性等について周知するための取組を、市町村や浄化槽指定検査機関等と連携して実施しています。

1 実践しよう！生活排水対策

生活排水は浄化槽や下水道などできれいに処理されます。これらの施設では、微生物のはたらきによって汚れを分解しますが、その能力には限りがあります。できるだけ水の汚れを減らして、微生物がはたらきやすい環境を整えておくことが大切です。

私たちの身近には、簡単にできる生活排水対策がたくさんあります。皆さんも、できることから少しずつ始めてみましょう。

身近な生活排水対策



洗う前に汚れを拭き取る。



水切りネットを活用する。



油は直接流さず、古新聞などに吸わせて可燃ゴミに出す。



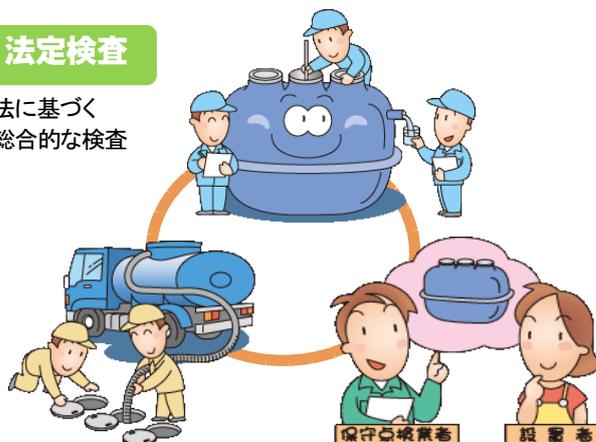
洗剤は適量を使用する。

2 維持管理が大切！

浄化槽管理者（一般住宅の場合、世帯主）は法令により、維持管理を行うことが義務づけられています。維持管理とは浄化槽の機能を適正に維持するためのもので、①保守点検、②清掃、③法定検査の3つあり、これらをすべて行う必要があります。

法定検査

法に基づく総合的な検査



清掃

汚泥等の引き抜き・洗浄

保守点検

機器の点検・調整・修理

浄化槽の維持管理

適正な維持管理を行うことで、浄化槽は下水道と同等の高い浄化能力を発揮することができます。維持管理の詳細はお住まいの市町村または最寄りの東三河総局・各県民事務所の環境保全担当課へお問い合わせください。

3 月間中のキャンペーン

浄化槽や身近な生活排水対策への関心を高めるため、浄化槽指定検査機関及び市町村と協働し、浄化槽の維持管理等に関する啓発資材の配布などを行います。

日時	場所
10月 6日(火) 10:00～12:00	名鉄一宮駅・JR尾張一宮駅 (一宮市新生・一宮市栄)
10月 7日(水) 10:00～12:00	JR神領駅 (春日井市神領町)
10月13日(火) 10:00～12:00	名鉄江南駅 (江南市古知野町)
10月14日(水) 9:00～10:00	JR豊川駅・名鉄豊川稲荷駅 (豊川市豊川町)
10月21日(水) 9:00～10:00	JR安城駅 (安城市御幸本町)

水地盤環境課 調整・生活排水グループ
電話 052-954-6219 (ダイヤルイン)

あいち生物多様性フォーラムを開催しました

愛知県では、生物多様性自治体ネットワークとの共催により、「あいち生物多様性フォーラム」を9月4日(金)に愛知芸術文化センターアートスペースA(名古屋市東区)において開催しました。

このフォーラムでは、大村知事による主催者挨拶に引き続き、テレビ番組等でもお馴染みの国立環境研究所主席研究員の五箇公一^{ごかこういち}さんに「生物多様性を守るとは何か? ~現状把握と将来に向けて~」という演題で、身近でわかりやすい例を交えながら、とても楽しい基調講演をしていただきました。

基調講演に引き続いて、「生態系ネットワーク形成の県内展開～地域協議会」と題し、知多半島生態系ネットワーク協議会、西三河生態系ネットワーク協議会、新城設楽生態系ネットワーク協議会から、具体的な取組に関する事例発表がありました。

また、県内7地域(知多半島、東部丘陵、西三河、

尾張北部、新城設楽、東三河、渥美半島)の各生態系ネットワーク協議会によるポスターセッションもあわせて実施し、参加者はお互いの取組内容等について、積極的に意見交換をするなど、とても有意義なフォーラムとなりました。



知事あいさつ



ポスターセッション

〔自然環境課 生物多様性保全グループ
電話 052-954-6475 (ダイヤルイン)〕

留学生インターンシップ事業を実施しました ～ 公益財団法人 愛知水と緑の公社 ～

愛知水と緑の公社では、留学生インターンシップ事業として、今年度も8月25日(火)から9月4日(金)まで、留学生3名を受け入れ、体験実習を実施しました。

1 受入留学生

- ・愛知工業大学博士前期課程 1年 中国出身
- ・愛知大学 2年 インドネシア出身
- ・愛知東邦大学 3年 中国出身

2 実施内容

環境保全の歴史や施策に関する講義のほか、大気汚染測定局や豊田環境保全センター跡地汚水処理施設の保守管理業務研修を行いました。



犬山大気汚染測定局での業務体験 (8/28)

国や県・市の機関においては、環境行政や研究への取組の講義を、また流域下水道終末処理場や中部電力(株)碧南火力発電所、(公益財団)愛知臨海環境整備センターなどの環境先進企業の視察を行いました。



愛知臨海環境整備センターの視察 (9/2)

留学生からは、「母国では環境に対する国民の意識が低く成長していない。日本のやり方や考え方を母国の人に伝えたい。」という意見がありました。

留学生にとって、この経験が今後の就業や母国での環境への取組に活用されることを期待しています。

〔公益財団法人 愛知水と緑の公社 環境部管理課
電話 052-913-1321〕



連載

「生態系ネットワーク形成の取組紹介 (2)」

1 はじめに

生態系ネットワーク形成の取組紹介の第2回は、知多半島生態系ネットワーク協議会(以下「協議会」という。)の取組です。

知多半島は、半田市出身の作家、新美南吉の「ごんぎつね」の舞台であることから、協議会では、「ごんぎつねと住める知多半島をつくろう」をテーマに、大学、企業、



協議会イメージ

NPO、行政が協力して、半島全

でキツネを象徴種とした保全活動を展開しています。ここでは、その主な取組として、北部の工業地帯の緑地モデル、中部の里地モデル、南部の海のある里山モデルの取組について紹介します。

2 協議会の取組

(1) 工業地帯の緑地モデル (北部)

この地域では、東海市から知多市にかけての臨海部の10社及び大府市の1社の計11社とNPO、学生、行政による「命をつなぐPROJECT」が展開されています。各企業では、自社の緑地において、生物多様性に配慮した整備が進められています。その活動にNPOと学生が参加し、活動内容をフリーペーパーにして地域へ発信しています。



フリーペーパー ecoReco あいち

今後、インターネットでも動画を含めた発信をしていく予定です。

(2) 里地モデル (中部)

東浦町自然環境学習の森では、キツネの生息に適した環境の維持・整備を進めています。学習の森の周辺には大規模な企業が立地しており、学習の森と企業緑地などの周辺の緑地をつないで、キツネが安全に行動できる範囲を広げるためのネットワーク形成を目指しています。

(3) 海のある里山モデル (南部)

知多半島南部の海岸近くでは、本来のマツ林が激減しています。日本福祉大学美浜キャンパスでは、枯損マツ林を再生し、分断された緑地をつなぐ緑の回廊を創出します。



計画立案ワークショップ

3 キツネの生息状況

知多半島では、キツネは1950～1960年代に土地開発等により地域絶滅しました。しかし、1997年以降、キツネが目撃され始め、近年では知多半島全域に生息・繁殖していることが確認されています。

4 今後の方向

今回紹介した取組以外にも、知多半島では様々な主体による活動が行われています。今後は各活動の連携を深めながら、生態系ネットワーク形成の更なる推進を図っていきます。

今回は、西三河生態系ネットワーク協議会の取組を紹介します。楽しみにお待ちください。

〔 自然環境課 生態系ネットワークグループ 〕
電話 052-954-6229 (ダイヤルイン)

愛知県環境情報紙「環境かわら版」
平成27年10月5日発行(第233号)
編集・発行 愛知県環境調査センター
企画情報部
〒462-0032 名古屋市北区辻町字流7-6
電話 052-910-5489(ダイヤルイン)

編集後記

夏の暑さも和らいで爽やかな季節となりましたが、そんな秋日和には、外に出て身近な自然に触れてみてはいかがでしょうか。愛知県では、「インタープリター愛・地球ミーティング」の関連事業として、インタープリターによる自然体感プログラム「おかけり！森の自然学校」を実施しています。秋の自然を感じたい方は、是非ご参加ください。

(企画・編集チーム)

※ この環境かわら版は、環境部 Web ページ「あいちの環境」<http://www.pref.aichi.jp/kanky/>でも発信しており、写真等をカラーでご覧いただけます。この記事は広報紙等へ再掲していただきますようお願いいたします。